

安全データシート(SDS)

1、化学物質等及び会社情報

製品名	:スプレーベルトワックス
製品コード	:BW-300S
会社名	:大澤ワックス株式会社
住所	:〒451-0045 名古屋市西区名駅2丁目27番8号 名古屋プライムセントラルタワー8階
電話番号	:052-414-4010
FAX番号	:052-414-4018
E-MAIL	:info-center@boll.co.jp
緊急連絡電話番号	:052-414-4010
製品の推奨用途及び使用上の制限	:平、Vベルト等あらゆるベルトのスリップ防止・キシミ音の防止
改訂日	:2024年3月1日

2、危険有害性の要約

GHS分類

【物理化学的危険性】

エアゾール: 区分1

【健康有害性】

急性毒性(経口):	分類できない
急性毒性(経皮):	分類できない
急性毒性(吸入:気体):	区分に該当しない(分類対象外)
急性毒性(吸入:蒸気):	区分4
急性毒性(吸入:粉塵、ミスト):	区分に該当しない(分類対象外)
皮膚腐食性/刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	区分2A
呼吸器感作性:	分類できない
皮膚感作性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない
生殖毒性:	分類できない
生殖毒性・授乳影響:	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露):	区分2(血管系)、区分3(気道刺激性、麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復暴露):	分類できない
誤えん有害性:	分類できない

【環境有害性】

水生環境急性有害性(急性):	区分1
水生環境慢性有害性(慢性):	区分3
オゾン層への有害性:	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語: 危険

危険有害性情報: 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

吸入すると有害

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

血管系の障害のおそれ

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

安全対策: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

加圧容器: 使用後も含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

- 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 応急措置: 皮膚に付着した場合: 多量の水で洗うこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察／手当てを受けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
漏出物を回収すること。
- 保管: 日光から遮断すること。50℃以上の温度に暴露しないこと。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
- 廃棄: 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する。

3、組成及び成分情報

単一物質・混合物の区分: 混合物(エアゾール)

成分及び含有量(wt%):

化学名		CAS No.	化審法・安衛法 官報公示番号	含有量 (質量%)
内容液	シクロヘキサン	110-82-7	3-2233	40～45%
	石油系炭化水素	非公開	非公開	25～30%
	石油樹脂	非公開	6-1071 6-1072	15～20%
噴射剤	ジメチルエーテル	115-10-6	2-360	10～20%

4、応急措置

- 吸入した場合: 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。体を毛布等でおい、保温して安静を保ち、直ちに医師の手当てを受ける。
呼吸が止まっている場合及び呼吸が弱い場合は、衣類をゆるめ、呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合: 接触した場合には、石鹼と多量の水で直ちに皮膚を洗うこと。汚染した衣服や靴は脱がせること。症状が発生した場合には、直ちに医師の手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
凍傷の手当てを行う。
- 眼に入った場合: 清浄な水で十分洗浄した後、直ちに医師の診断を受ける。
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球・まぶたの隅々まで水がよく行き渡るように洗浄する。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄を続ける。
- 飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
口の中が汚染されている場合には、水で十分に洗う。
- 最も重要な徴候及び症状: 吸入すると、咳、咽頭痛、めまい、頭痛。
皮膚に接触すると、皮膚の乾燥、発赤。
眼に接触すると、発赤、痛み。
飲み込むと、灼熱感、腹痛、咳、咽頭痛、めまい、頭痛、吐き気。
- 応急処置をする者の保護: 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。火気に注意する。
- 医師に対する特別な注意事項: 症状は遅れて発現することがあり、過剰に曝露したときは医学的な経過観察が必要である。

5、火災時の措置

- 適切な消火剤: 小火災: 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、耐アルコール性泡消火剤。
大火災: 散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤。
- 使ってはならない消火剤: 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。
- 特有の危険有害性: 極めて燃えやすい、熱、火花、火災で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
容易に着火し、火炎は見え難いので注意が必要である。

- 火災によって刺激性・腐食性、及び又は毒性のガスを発生するおそれがある。
燃焼の際は、煙・一酸化炭素等が生成される。
- 特有の消化方法: 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち散水以外の適切な消火剤を利用すること。
散水以外の消火剤で消火の効果がでない大きな火災の場合には散水する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消化を行う者の保護: 消火作業の際は、風上から行き必ず保護具を着用し、皮膚への接触が想定される場合は、不浸透性の保護具及び手袋を着用する。
消火作業を行う者は、空気呼吸器などの保護具を着用し、酸素欠乏および有害ガスから身をまもること。

6、漏出時の措置

- 人体に対する注意事項: 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 保護具及び緊急措置 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。
風上に留まる。
低地から離れる。
密閉された場所に入る前に換気する。
- 環境に対する注意事項: 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
河川等に排出され、環境へ影響を起さないように注意する。
環境中に放出してはならない。
- 回収: 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
後で廃棄処理する。
少量の場合、吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
- 封じ込め及び浄化方法と機材: 危険でなければ漏れを止める。
漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。
蒸気抑制泡は蒸気濃度を低下させるために用いる。
- 二次災害の防止策: すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
蒸気発生が多い場合は、噴霧注水により蒸気発生を抑制する。
関係箇所に通報し応援を求める。

7、取扱い及び保管上の注意

- 取扱い 技術的対策: 熱・火花・炎・高温体等との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発散させないこと。禁煙。
皮膚に触れたり、眼に入る可能性のある場合は保護具を着用する。
8、暴露防止及び保護措置に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気: 室内で取り扱いを行う場合は、十分な換気を行う。
換気装置をつける場合は、防爆タイプを用いる。
- 安全取扱注意事項: 混触危険物質と接触しないように注意する。
周辺での高温物・スパーク・火気の使用を禁止する。禁煙。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしない。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 保管 適切な保管条件: 高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や、火気等の近くなど温度が40℃以上となるとところに置かない。
子供の手の届かないところに保管すること。

8、暴露防止及び保護措置

成分		管理濃度 (ppm)	許容濃度	
			日本産業衛生学会	ACGIH
内容液	石油系炭化水素	有用なデータ無し	3mg/m ³ (鉱油ミストとして)	時間加重平均 TWA 5mg/m ³ (鉱油ミストとして)
	シクロヘキサン	未設定	150ppm	TLV-TWA 100ppm
	石油樹脂	未設定	2mg/m ³ (吸引性粉じん) 8mg/m ³ (総粉じん)	TLV:3mg/m ³ (respirable particles), 10mg/m ³ (inhalable particles)
噴射剤	ジメチルエーテル	未設定	未設定	未設定

設備対策: 設備・換気扇の電気設備には、防爆構造のものを用いる。

屋内作業場での使用時は、局所排気装置等を設置する。
取扱い場所の近くに洗眼器・シャワーを設け、その位置を表示する。

保護具 呼吸器の保護具: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
眼の保護具: ゴーグル型保護眼鏡
手の保護具: 溶剤用手袋など不浸透性のもの
皮膚及び身体の保護具: 保護前掛け、安全靴(静電靴)や保護長靴などを使用する。半袖の作業着は避ける。
衛生対策: 取扱後は、手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

9、物理的及び化学的性質

【内容液:石油系炭化水素】

外観: 淡黄色～黄色透明
密度(15℃): 0.87g/cm³
初留点: 250℃以上
引火点: 220℃以上
発火点: 測定データ無し
可燃性: 有り
爆発限界: 下限 1% 上限 7% (推定値)
動粘度(40℃): 45.8mm²/s
溶解度(水): 不溶

【内容液:石油樹脂】

外観 物理的状態: 固体
色: 淡黄色
臭い: 芳香族系
融点・凝固点: 軟化点 70-170℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲: データなし
可燃性: 可燃性の固体
燃焼の範囲又は爆発範囲: データなし
引火点: データなし
自然発火点: データなし
分解温度: データなし
pH: 適用外
動粘性率: 適用外
密度及び/又は相対密度: 約 1.0g/cm³ @ 20℃
n-オクタノール/水分配係数: データなし
溶解度: 無視できる

【噴射剤:ジメチルエーテル】

外観: 無色気体
臭い: やや甘味臭
pH: データなし
融点・凝固点: -141.5℃
沸点、初留点及び沸騰範囲: -24.82℃
引火点: -41.1℃(密閉式)
自然発火温度(発火点): 350℃
燃焼性(固体・ガス): 可燃性
燃焼又は爆発範囲の上限/下限: 下限 3.4vol% 上限 27.0vol%
蒸気圧: 1,930mmHg(257kpa)(0℃)、3,800mmHg(507kpa)(20.8℃)
蒸気密度: 1.59(空気1)
比重(相対密度): 0.661(25℃液体)
溶解性: 7.0g/水100g(18℃) 水に35wt%(24℃、5気圧)
n-オクタノール/水分配係数(log Pow): 0.2
分解温度: データなし

【内容液:シクロヘキサン】

外観 物理的状態: 液体
色: 無色
臭い: 特有の臭気
融点・凝固点: 6.5℃
沸点・初留点、及び沸点範囲: 81.4℃
可燃性: 引火性の高い液体及び蒸気。
爆発範囲: 下限 1.3vol%、上限 8.3vol%
引火点: -20℃
自然発火点: 268℃
分解温度: 分解温度 データなし。
pH: pH データなし。
動粘性率: 1.269(m²/s)
溶解度: 水:6g/L、アセトン、エタノール、トルエンと混和。
オクタノール/水分配係数: log Pow = 3.44
蒸気圧: 10.4KPa(20℃)
密度及び/又は相対密度: 0.772(20/4℃)
相対ガス密度(空気=1): 2.9
粒子特性: データなし。

10、安定性及び反応性

【内容液:石油系炭化水素】

安定性: 常温・常圧で安定
反応性: 強酸化剤と接触をすると反応する可能性がある。
避けるべき条件: 強酸化剤との接触を避ける。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触を避ける。
加熱・スパーク・裸火及びその他の発火源との接触を避ける。
危険有害な分解生成物: 燃焼等により、一酸化炭素等が発生する可能性がある。

その他: 有用なデータ無し

【内容液:シクロヘキサン】

反応性、化学的安定性: 通常の条件では、危険有害な反応は起こらない。
通常の取扱いにおいては安定である。
流動、攪拌などにより、静電気が発生することがある。
危険有害反応可能性: 強酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件: 加熱。
混触危険物質: 強酸化剤。過酸化物。
危険有害な分解生成物: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

【内容液:石油樹脂】

反応性、化学的安定性: 通常の取り扱い及び保管条件では、安定である。
危険有害反応可能性: 危険有害性のある重合、反応はおきない。
避けるべき条件: 裸火および高エネルギー発火源
長期間にわたる加熱
混触危険物質: 強酸化剤
危険有害な分解生成物: 常温では分解しないが、火災により、一酸化炭素を発生することがある。

【噴射剤:ジメチルエーテル】

安定性: 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性: 気体、空気の混合気体は爆発性である。
この気体は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動することがある。
遠距離引火の可能性がある、より低い場所にたまり酸素不足を引き起こすことがある。
光や空気の影響下で爆発性過酸化物を生成することがある。
酸化剤と反応する。
避けるべき条件: 裸火、火花・禁煙。高温面との接触。
混触危険物質: 酸化剤。
危険有害な分解生成物: 爆発性過酸化物(光や空気の影響下)
刺激性のヒューム(燃焼時)

11、有害性情報

急性毒性(経口): データ不足のため分類できない。

急性毒性(経皮): データ不足のため分類できない。

急性毒性(吸入: 気体): GHS定義による気体ではない。

急性毒性(吸入: 蒸気): 急性毒性(吸入):蒸気:ppmでの計算
区分に該当しない: CAS番号:110-82-7(毒性値=9500ppm 含有率=41.584% 出典:NITE)
区分に該当しない(分類対象外): CAS番号:115-10-6(含有率=16.832% 出典:NITE)
分類できない: CAS番号:なし(含有率=25.743% 出典:), CAS番号:なし(含有率=15.842% 出典:)
 $ATE_{mix} = (100 - 41.585) / ((41.584\% / 9500ppm))$ 計算結果が
13345.0966718ppmのため、区分4に該当。

急性毒性(吸入):蒸気:mg/lでの計算
区分に該当しない: CAS番号:110-82-7(毒性値=32.88mg/l 含有率=41.584% 出典:NITE)
区分に該当しない(分類対象外): CAS番号:115-10-6(含有率=16.832% 出典:NITE)
分類できない: CAS番号:なし(含有率=25.743% 出典:), CAS番号:なし(含有率=15.842% 出典:)
 $ATE_{mix} = (100 - 41.585) / ((41.584\% / 32.88mg/l))$ 計算結果が46.188082mg/l
のため、区分5に該当。
危険有害性情報:H332 吸入すると有害

急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト): データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性/刺激性: 区分2: CAS番号:110-82-7(含有率=41.584% 出典:NITE)
分類できない: CAS番号:なし(含有率=25.743% 出典:), CAS番号:なし(含有率=15.842% 出典:),
CAS番号:115-10-6(含有率=16.832% 出典:NITE)
加成方式が適用できる成分からの判定:
区分2の成分合計が41.584%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2に該当。
危険有害性情報:H315 皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分2: CAS番号:110-82-7(含有率=41.584% 出典:NITE)

分類できない: CAS番号: なし(含有率=25.743% 出典:), CAS番号: なし(含有率=15.842% 出典:)
CAS番号: 115-10-6(含有率=16.832% 出典: NITE)
加成方式が適用できる成分からの判定:
眼区分2の成分合計が41.584%であり、濃度限界(10%)以上のため、区分2Aに該当。
危険有害性情報: H319 強い眼刺激

呼吸器感作性: データ不足のため分類できない。

皮膚感作性: データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性: データ不足のため分類できない。

発がん性: データ不足のため分類できない。

生殖毒性: データ不足のため分類できない。

生殖毒性・授乳影響: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分2: CAS番号: 110-82-7(含有率=41.584% 臓器=血管系 出典: NITE)
区分3: CAS番号: 110-82-7(含有率=41.584% 臓器=気道刺激性 出典: NITE), CAS番号: 110-82-7(含有率=41.584% 臓器=麻酔作用 出典: NITE), CAS番号: 115-10-6(含有率=16.832% 臓器=麻酔作用 出典: NITE)
分類できない: CAS番号: なし(含有率=25.743% 出典:), CAS番号: なし(含有率=15.842% 出典:)
区分3(気道刺激性)の成分合計が41.584%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(気道刺激性)に該当する。
区分3(麻酔作用)の成分合計が58.416%であり、濃度限界(20%)以上のため、区分3(麻酔作用)に該当する。
CAS番号: 110-82-7が41.584% $\geq$ 10%のため、区分2(血管系)に該当。
危険有害性情報: H335 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露): データ不足のため分類できない。

誤えん有害性: GHS定義による固体、液体ではない。

12、環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性): 区分に該当しない: CAS番号: 115-10-6(含有率=16.832% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 出典: NITE)
分類できない: CAS番号: なし(含有率=25.743% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 出典:), CAS番号: なし(含有率=15.842% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 出典:)
区分1: CAS番号: 110-82-7(含有率=41.584% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=0.9mg/l 毒性値(藻類)=なし 出典: NITE)

方式2:
加算式
 $41.584\% / ((41.584\% / 0.9\text{mg/l}))$
計算結果=計算値: 0.9mg/l、分類区分: 区分1、毒性乗率: 1
加算法
区分1 $\times$ 毒性乗率が41.584%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分1に該当。

方式3:
加算法
区分1 $\times$ 毒性乗率が41.584%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分1に該当。

方式1=分類できない、方式2=区分1、方式3=区分1より区分1に該当。

危険有害性情報: H400 水生生物に非常に強い毒性

水生環境有害性 長期(慢性): 区分3: CAS番号: 110-82-7(含有率=41.584% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=0.94mg/l 急速分解性=有 出典: NITE)
区分に該当しない: CAS番号: 115-10-6(含有率=16.832% 毒性値(魚類)=なし 毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明 出典: NITE)
分類できない: CAS番号: なし(含有率=25.743% 毒性値(魚類)=なし

毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明 出典:),
CAS番号:なし(含有率=15.842% 毒性値(魚類)=なし
毒性値(甲殻類)=なし 毒性値(藻類)=なし 急速分解性=不明 出典:)

方式2:

加算式

$41.584\% / ((41.584\% / 0.94\text{mg/l}))$

計算結果=計算値:0.94mg/l、分類区分:区分3

加算法

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が41.584%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分3に該当。

方式3:

加算法

(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3が41.584%であり、濃度限界(25%)以上のため、区分3に該当。

方式1=分類できない、方式2=区分3、方式3=区分3より区分3に該当。

危険有害性情報:H412 長期継続的影響によって水生生物に有害

オゾン層への有害性: データ不足のため分類できない。

13、廃棄上の注意

- ・必ず中身を使い切り、中身がないことを確認して廃棄する。
- ・廃棄は各自治体の指示に従って行う。

14、輸送上の注意

国際規制

国連番号: 1950

国連品名: エアゾール

国連分類: 引火性ガス

国連等級: 2.1

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15、適用法令

労働安全衛生法: 名称等を表示すべき危険有害物(シクロヘキサン・鉱油)

名称等を通知すべき危険有害物(シクロヘキサン・鉱油)

危険物・可燃性のガス

消防法: 危険物第四類第1石油類

化学物質管理促進法(PRTR法): 第一種指定化学物質(シクロヘキサン)

毒物及び劇物取締法: 非該当

水質汚濁防止法: 油分排出規制

下水道法: 鉱油類排出規制

高圧ガス保安法: 通商産業省告示139号(平成9年3月24日) エアゾール

船舶安全法、航空法: 高圧ガス

16、その他の情報

記載内容の取り扱い: ここに記載された情報は現時点で正確な物と考えられますが、危険・有害性の評価は必ずしも完全な物ではなく、新知見によって変わることがあります。
また、需要家の皆様の使用条件は弊社の管理外の事項となりますので、取り扱いには十分注意して下さい。